

航空特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法 規

〔1〕 無線局の予備免許が与えられるときに総務大臣から指定される事項はどれか。次のうちから選べ。

- 1 空中線電力
- 2 無線局の種別
- 3 免許の有効期間
- 4 無線設備の設置場所

〔4〕 総務大臣から無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
- 2 日本の国籍を有しない者となったとき。
- 3 電波法又は電波法に基づく命令に違反したとき。
- 4 免許証を失ったとき。

〔2〕 電波の主搬送波の変調の型式が振幅変調で両側波帯のもの、主搬送波を変調する信号の性質がアナログ信号である単一チャネルのものであって、伝送情報の型式が電話（音響の放送を含む。）の電波の型式を表示する記号はどれか。次のうちから選べ。

- 1 F3E
- 2 F1B
- 3 J3E
- 4 A3E

〔5〕 無線局の免許人は、電波法又は電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 その無線局の免許人を告発する。
- 2 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 3 その無線局の電波の発射を停止させる。
- 4 その無線局の免許人にその旨を通知する。

〔3〕 航空特殊無線技士の資格を有する者が、航空局（航空交通管制の用に供するものを除く。）の空中線電力50ワット以下の無線電話の国内通信のための通信操作を行うことができる周波数の電波はどれか。次のうちから選べ。

- 1 1,606.5kHz以上
- 2 25,010kHz以上
- 3 25,010kHz未満
- 4 28,000kHz以下

〔6〕 無線局の免許人が総務大臣に遅滞なく免許状を返さなければならないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 無線局の運用の停止を命じられたとき。
- 2 電波の発射の停止を命じられたとき。
- 3 免許状を汚したために再交付の申請を行い、新たな免許状の交付を受けたとき。
- 4 免許人が電波法に違反したとき。

航空特殊無線技士試験問題

法 規

- 〔7〕 次の記述は、呼出符号の使用の特例について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

航空局又は航空機局は、連絡設定後であって のおそれがないときは、当該航空機局の呼出符号又は呼出名称に代えて、総務大臣が別に告示する簡易な識別表示を使用することができる。ただし、航空機局は、航空局から当該識別表示により呼出しを受けた後でなければこれを使用することができない。

- 1 妨害
- 2 途絶
- 3 混同
- 4 混信

- 〔8〕 無線電話通信において、無線局は、自局に対する呼出しを受信した場合に、呼出局の呼出符号又は呼出名称が不確実であるときは、応答事項のうち相手局の呼出符号又は呼出名称の代わりにどの略語を使用して直ちに応答しなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 各局
- 2 誰かこちらを呼びましたか
- 3 貴局名は何ですか
- 4 反復

- 〔9〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信しようとするときに応答事項の次に送信する略語はどれか。次のうちから選べ。

- 1 受信します
- 2 OK
- 3 どうぞ
- 4 了解

- 〔10〕 遭難航空機局が遭難通信に使用する電波に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 遭難航空機局は、F 3 E 電波 1 5 6 . 8 M H z を使用することができる。
- 2 遭難航空機局は、責任航空局から指示されている電波がない場合には、航空機局と航空局との間の通信に使用するためにあらかじめ定められている電波を使用する。
- 3 遭難航空機局は、遭難通信を開始した後は、いかなる場合であっても、使用している電波を変更してはならない。
- 4 遭難航空機局は、責任航空局から指示されている電波がある場合にあっては、当該電波を使用する。

- 〔11〕 1 2 1 . 5 M H z の周波数の電波を使用することができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 1 2 1 . 5 M H z 以外の周波数の電波を使用することができない航空機局と航空局との間に通信を行うとき。
- 2 電波の規正に関する通信を行うとき。
- 3 気象の照会のために航空局と航空機局との間において通信を行うとき。
- 4 時刻の照合のために航空機局相互間において通信を行うとき。

- 〔12〕 無線局が電波を発射して行う無線電話の機器の試験中、しばしば確かめなければならないことはどれか。次のうちから選べ。

- 1 その電波の周波数の偏差が許容値を超えていないかどうか。
- 2 「本日は晴天なり」の連続及び自局の呼出符号又は呼出名称の送信が5秒間を超えていないかどうか。
- 3 受信機が最良の感度に調整されているかどうか。
- 4 他の無線局から停止の要求がないかどうか。